令和８年３月１日（日）

２０２５年度 岐阜県６・９人制クラブバレーボール男女選手権大会

代表者会議資料

審判上の確認

審判委員長

１　本大会は、２０２５年公益財団法人日本バレーボール協会制定６人制及び９人制競技規則及び同競技要項により実施する。

２　チーム役員及び選手は、競技規則に精通し、これを遵守すること。

３　本大会は、ワンボールシステムで行う。

４　プロトコールについて
（１）第１試合は準備完了後、プロトコールに入る。
（２）第２試合以降は、前の試合終了後、１０分後にプロトコールに入る。

５　ポジションの反則について（６人制）
（１）サービスヒットの瞬間、両チームは（サーバーを除き）それぞれのコート内に位置していなければならない。
（２）レシービングチームの選手はサービスヒット時、ローテーション順に位置しなければならない。
（３）サービングチームの選手はサービスヒット時、どの位置にいてもよい。

６　スクリーンについて（６人制）
（１）サービングチームの選手は、１人または集団でスクリーンを形成してサービスヒットおよびサービスボールのコースが相手チームに見えないように妨害してはならない。
（２）サービングチームの選手は、サービスボールがネットを越えるまで、手を頭より上にあげてはならない。

７　競技の中断について
（１）試合中、タイムアウトの要求は、必ず公式ハンドシグナルを用いること。
（２）試合中、選手交代の要求は、正規の競技中断中に、交代選手がコートに入る準備をして選手交代ゾーンに入ることをいう。

８　ワイピングについて
（１）試合中、コートが汗で濡れた場合、コート上の選手が自分で準備したタオルで速やかにコートを拭くこと。
※状況により、審判員の指示でラリー終了後、交代競技者（３人以内）が速やかにコートに入って拭くことを認める。
（２）ワイピングの要求は、遅延に対する罰則（ディレー）の対象となるので注意すること。
（３）タイムアウト及びセット間のワイピングは、各チームの責任で行なうこと。

９　リベロについて（６人制）
（１）チームは、記録用紙の選手リストの中からリベロを２名まで指名することができる。
（選手が１２名までの場合は０～２名、１３名以上の場合は必ず２名登録すること）
（２）試合中、いかなるときでもコート上に立てるのは、１人のリベロだけである。

１０　ラリーの中断について（９人制）
（１）インプレー中に何らかの理由でプレーを中断したときは、中断したときのサーバーのサービス（第１または第２サービス）でラリーを再開する。

１１　その他

（１）試合中、監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。

（２）公式ウォームアップの際には、エントリーされた競技者とチームスタッフのみが競技エリアに入ることができる。

（３）試合中、ボールを使用しての練習は、セット間においてエンドライン後方、フリーゾーン内のみで認められる。それ以外では、ボールを使用しての練習は認められない。

（４）帯同審判員・コートオフィシャル（線審・点示員）について

・大会本部にて審判割を掲示するので、必ず確認すること。

・副審にあたる際は、必ずワッペンを着用し、服装は審判服が望ましい。大会本部からの審判服の貸出しはしない。

・記録員（記録員補助）・コートオフィシャルを行う際は、必ずシューズを履くこと。　首からタオルをかける等も禁止。
※審判服が無い場合はジャージも可。　短パンは不可。(副審)　ホイッスルは各チームで準備してください。

・帯同審判員として、その任務にあたるチーム関係者は、担当する試合終了後、大会本部に出向き、役職手当を受け取る。